

令和5年度 進路だより

わくわくワーク第2号

令和5年7月20日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

6月14日に学校評議員会があり、評議員の方から進路選択についてご意見をいただきました。いろいろな事業所を見学したり体験したりして作業内容だけでなく事業所の雰囲気も自分に合うか見極めてほしい、そのためには小学部のころから進路選択の準備を始めるとよい、ということです。本校では、小学部から「働くこと」の学習をしたり、保護者向けの進路学習会を行ったりしています。また、高等部の2、3年生は6月に校外就業体験があり、事業所で実際に作業をしたり、他の利用者の方と関わったりして、卒業後の進路選択のための機会となりました。

今年度はアクションプランとして、7月25日に「障害福祉事業所合同説明会」を実施する予定です。事業所ごとのブースを回って、直接お話を聞くことのできる良い機会です。ぜひご参加ください。

時間はたくさんあるようであつという間に卒業を迎えます。学校は、進路選択の助けができるよう、取り組んで参ります。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
(教頭 井内千絵)

第1回高等部就業体験(6月7日~20日)

就業体験は、生徒の進路を考える上で非常に大切な学習活動です。生徒一人一人が目標をもって取り組んだ就業体験では、一人一人の自立と社会参加に向けて、ステップアップすることができました。

<校内就業体験>

1年生

<作業内容>通常班での作業

<体験の様子>作業が続くことで疲れを見せる生徒もいましたが、休憩時間にリフレッシュすることで、10日間頑張ることができました。

2週間作業を続けて行うことで、新しい仕事にチャレンジしたり、前はできなかったことができるようになった生徒もいました。この経験を今後の学習や来年度の校外就業体験に生かしていきたいと思います。



メモ帳の丁合い

<校外就業体験>

社会福祉法人 白皇山保護園 つばさの郷(生活介護事業所)



<作業内容>リード線切り、シュレッダー、訓練用のネジの分解・組み立て、ボールペンの分解・組み立て

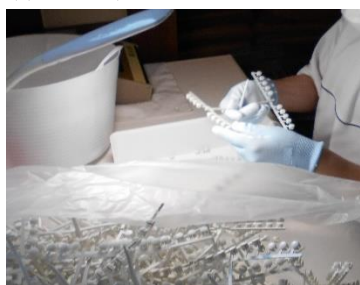
<体験の様子>落ち着いた雰囲気の中で、根気強く集中して作業に取り組むことができました。サークル活動では、他の利用者と一緒に色紙をちぎり、貼り絵をして楽しむなど、余暇の充実につながる活動も体験しました。

社会福祉法人フォーレスト八尾会 おわらの里（就労継続支援 B 型事業所）



＜作業内容＞スナップエンドウの豆出し、大麦の選別等
＜体験の様子＞スナップエンドウの豆出しでは、職員さんにやり方を教わりながら、一つずつ丁寧に豆を出していくことができました。大麦の選別では、大麦の麦の部分をはさみで切り取り、その後良いものと悪いものに選別していく作業に取り組みました。

株式会社 Green かたかごの里（就労継続支援 A 型事業所）



＜作業内容＞プラスチック製品の検品

＜体験の様子＞

部品に黒い汚れがないか確認してから、つながっている20個の部品を枠から全部外すという流れで取り組みました。床に部品を落としてしまったときには、ライトに当てて傷や汚れがないか確認してからもとに戻すことなど慎重に作業に取り組みました。

就業体験を終えて

事業所の方に記入していただいた評価表の内容を一部紹介します。

- 元気に返事や挨拶をし、報告ができていました。
- 作業に落ち着いて丁寧に組み立てていました。
- 規則正しい生活を送ることを心掛けてください。
- 一人でできることを増やし、支援が必要な時に伝えられるようになってほしいです。
- いろんなことを経験する機会を作って、成功体験を積んで自信につなげてほしいです。



就業体験を通して卒業後に求められる姿を知り、学校と家庭で連携して支援していきたいと思います。

高等部進路説明会（4月27日）

高等部1、2年生の保護者対象の進路説明会には37名の保護者が参加されました。説明会では、卒業後の進路先に関する情報や高等部卒業までの進路支援の流れについて説明をしました。また、就業体験の様子を記録した映像の視聴や就業体験を実施するにあたっての確認事項について説明し、保護者の皆様には、事業所の情報収集や見学等をお願いしました。説明会終了後には、「卒業後に向けて具体的な流れが分かり、今後の準備をしようと思います。」「今日の説明会を参考にして子供と話したいです。」「就業体験の映像をもっと見てみたいです。」などのご意見や感想をいただきました。

